

歩いてまわろう

新四国のみち NEWS

地域主体のみちづくり・まちづくりを支援します！

創刊号（平成14年10月1日）

高知県大野見地区で地区委員会を開催

新四国のみち認定地区である高知県大野見地区で「第1回大野見地区委員会」が9月3日(火)、大野見村内において開催されました。

委員会には地区の代表者や行政関係者ら約10名が参加。整備についての計画づくりやイベント活動等、今後の取組について話し合いが行われました。この中で、ルート名については、自然を活かした道の整備が必要であるということから「人と自然が輝く源流のみち」に決定されました。

委員会では今後、継続して整備方針等を検討していくこととしています。「新四国のみち」大野見地区の詳細は中村工事事務所のホームページをご覧ください。

中村工事事務所「新四国のみち」大野見地区アドレス

<http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/road/onomi/onomi.html>

徳島県鴨島地区で鴨島塾を開催

徳島県鴨島地区において空海をたどるいやしのみち鴨島塾が9月6日(金)に開催されました。

今回の検討会では、策定された事業計画をもとに昨年度の整備結果の報告が行われました。整備された箇所については具体的な維持管理方法、未整備区間については具体的な整備場所・整備方法などについて熱心な議論が行われました。

また、善意の方によるベンチの寄付等があったことなどが報告され、新四国のみちを地域住民が一体となって良くしていこうという思いの強さを実感する一幕もありました。



さぬき市長尾地区「新四国のみち」ウォークの開催情報

さぬき市誕生記念行事として「さぬき・遍路88ウォーク」が10月20日(日)に開催されます。さぬき市の四国霊場86番志度寺・87番長尾寺・88番大窪寺をまわる「新四国のみち」コースで、自分に合わせたコースを選択できます。募集人員は先着約500名。申込み締切は10月4日(金)となっています。

また、これに併せてシンポジウム「いやしのくに四国」(13:30~16:00)が「ツインパルながお」で開催されます。詳細は四国地方整備局「新四国のみち」のホームページをご覧ください。

「さぬき・遍路88ウォーク」情報アドレス

<http://www.skr.mlit.go.jp/road/sinsikok/event/event.html>

徳島県神山地区でいやしのみちウォークを開催

徳島県神山地区において、いやしのみちウォークが9月14日(土)に開催されました。

「神山町いやしのみち井戸端会議」に参加しているメンバーが、実際に現地を歩いて整備方針について考えるために企画されたものです。「へんろころがし」と名の付くほど、遍路みちの中でも1、2を争う難所がある12番札所焼山寺から柳水庵を往復するという、ハードなウォーキングでした。(往復11.8km)

当日は曇り空で涼しいという最適な天気にも恵まれた中、40数名が参加し、参加者の中からは「この場所がすべりやすく危険だ」「道しるべがわかりにくい」など活発な意見がだされ、有意義なものとなりました。

途中、歩き遍路さんも合流し一緒に楽しくウォーキングするなど『いやし』を参加者全員が満喫し解散となりました。



高知県野市町西野・大谷地区で地域懇談会が終了

平成13年7月27日に懇談会を立ち上げ、平成14年6月11日(火)の第6回をもって地域懇談会は終了しました。懇談会に出席して下さる方の地元への思い入れが強く、ルート名がなかなか決まらなかった地区ですが、第5回目の懇談会にしてやっと「野開きのみち(のびらきのみち)」と決定しました。

野市町は江戸時代始めに野中兼山によって整備された水路網によって豊かになったので、「野」中兼山が「開」いたという意味と、野市町をこれからもよりよく開いていこう、との願いが込められています。

町中の三宝山を見上げ、野中兼山の水路網(「みずみち」と地元では呼ばれています)に沿いながら、田園風景を眺め、ゆったり歩いていく、そんなコースになっています。春には桜、梅雨時には紫陽花、冬には山茶花。鶯が鳴き、蛍が飛び交う。季節毎の植物や生き物をぜひ、実際に訪れてその目で見てみてください。



高知県梼原町東区・太郎川地区の紹介

梼原町は、高知県西部に位置し四国山脈を戴く緑深い土地です。「坂本龍馬脱藩の道」「維新の道」等、幕末・明治維新にまつわる歴史・文化資源が多くあります。また、日本最後の清流といわれる四万十川源流の町の1つでもあります。新四国のみちのルートはそんな歴史と自然豊かな土地柄を堪能できるよう、総延長17.6kmという長いものになりました。

梼原町は以前からまちづくりに熱心で、山深いその土地を「雲の上のまち」と称し、町を挙げてボランティアに取り組むなど様々な活動を行っています。新四国のみちのルート名もそれにちなんで「雲の上のみち」と名付けられました。雲の上のみちには、自転車での周遊ができるコースがあり、歩いてまわるのとはまた違った風を感じることができると思います。



愛媛県砥部町砥部地区のパンフレットを作成

「砥部焼の里ルート」を中心として、砥部の文化や地元住民の地域活動の姿を取り上げつつ、街づくりにおける「まちづくり」の大切さの意識の高揚を図れるようパンフレット「とべのみち」を作成しました。このパンフレットは、合計4回にわたり以下のような内容を掲載していく予定で作成します。

第1号発行(2002年8月)

窯元さんの紹介と作成したモニュメントを掲載

陶の道：砥部の伝統的窯元

とべの道草：こどもの城で出会う風景

第2号発行(2002年11月予定)

窯元さんの紹介と作成したモニュメントを掲載

陶の道：砥部の中堅どころに当たる窯元

とべの道草：砥部実りの風景

第3号発行(2003年1月予定)

窯元さんの紹介と作成したモニュメントを掲載

陶の道：砥部以外のところから砥部にやってきた窯元

とべの道草：アーティストが生まれる風景

第4号発行(2003年3月予定)

窯元さんの紹介と作成したモニュメントを掲載

陶の道：若手30代の窯元

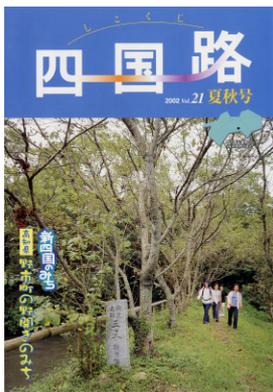
とべの道草：砥部焼まつりの舞台裏風景



「四国路」で新四国のみちを紹介中

「四国の道路を考える会」発行の「四国路」2002年夏秋号で、高知県野市町西野・大谷地区の取組を紹介しています。西野・大谷地区は江戸時代の用水路である「みずみち」に沿って散策する野市町の自然と歴史を楽しむみちです。

「四国路」では新四国のみちを毎号1地区ずつ紹介しており、過去には「高知県柏島地区」「香川県長尾地区」「愛媛県砥部地区」の取組も紹介されました。今後も各地区の取組を順番に取り上げていく予定です。「四国路」2002年夏秋号は四国地方整備局のホームページでもご覧になります。



「四国路」2002年夏秋号アドレス

<http://www.skr.mlit.go.jp/koho/shikokuji/shikokuji.html>

～ 編集後記 ～

さわやかな秋となり、何をやるにも一番良い時期を迎え、新四国のみち認定地区でもウォーキングイベントをはじめとする各種イベント等が計画されています。

「新四国のみち NEWS」もいよいよ創刊となりました。このニュースは、このようなイベントや地区懇談会などの開催状況はもちろん、ハード整備の現状なども含め、各地区の活動状況を幅広く情報交換できるものに育てていきたいと思えます。皆さんからの投稿やニュースに関するご意見などをお寄せ下さい。

また、事務局の私たちも、各地区のイベントにどんどん参加したり、地域の人々のお話や各市町村担当者との意見交換等を実施したいと思っています。

さっそく、9月中下旬に香川県の2地区に伺い、地区の現状や今後の予定等に関する内容を情報交換して参りました。その内容の一端を下記に紹介します。(黒木)

さぬき市長尾地区

5町合併により長尾町からさぬき市となったため、少しバタバタしましたが、新四国のみちのエリアは「まちづくり総合支援事業」を活用し、今年度からハード整備に着手しています。また、10月20日(日)には新市誕生記念としてウォーキングイベントを予定しています。今後の予定としては、広報用ツールであるパンフレットを一部修正し、増刷したいと考えています。



「道の駅ながお」の情報コーナーに展示してある内照式の新四国のみちルート図の展示状況

善通寺市善通寺地区

善通寺地区は、新四国のみちエリアのハード整備は全体の50%以上が進捗し、市民にも大変喜ばれています。(写真参照)

また、道路里親制度(ボランティアサポートプログラム)も盛んで、257団体、約2,200人が登録されており、市内の国道・県道・市道の全道路約380kmのうち約22%(約80km)が里親制度で管理されています。

今後は、地区推進協議会を開催し、地区パンフレットを年内に作成し、善通寺の新四国のみちを積極的に広報していく予定です。



整備が進む善通寺地区の新四国のみちエリア。
(10月4日には「美しいまちなみ賞」の優秀賞を受賞予定)

編集・発行

新四国のみち事務局

四国地方整備局道路部地域道路課 黒木、近藤

TEL 087-851-8061(代表)

HPアドレス：<http://www.skr.mlit.go.jp/road/sinsikok/index.html>

E-Mail：kuroki-k8812@skr.mlit.go.jp , kondou-m8812@skr.mlit.go.jp